

1 3 東金商圏（準商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表IV-13-1 東金商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界					
	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)		
		市町村 吸引率				市町村 吸引率				
第1次 (30%以上)	計	3	67.6%	104,966	70,908	計	2	76.3%	80,363	61,337
	東金市		76.0%	61,681	46,878	東金市		76.0%	61,681	46,878
	旧・成東町		38.9%	24,603	9,571	九十九里町		77.4%	18,682	14,460
	九十九里町		77.4%	18,682	14,460					
第2次 (10~30%未満)	計	4	14.0%	49,868	6,960	計	1	23.3%	58,527	13,637
	旧・山武町		10.4%	19,603	2,039	山武市		23.3%	58,527	13,637
	旧・蓮沼村		27.9%	4,697	1,310					
	旧・松尾町		19.3%	11,018	2,126					
	旧・横芝町		10.2%	14,550	1,484					
第3次 (5~10%未満)	計	1	9.9%	49,777	4,928	計	2	9.2%	75,505	6,960
	大網白里町		9.9%	49,777	4,928	大網白里町		9.9%	49,777	4,928
						横芝光町		7.9%	25,728	2,033
合計		8	40.5%	204,611	82,796		5	38.2%	214,395	81,935

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

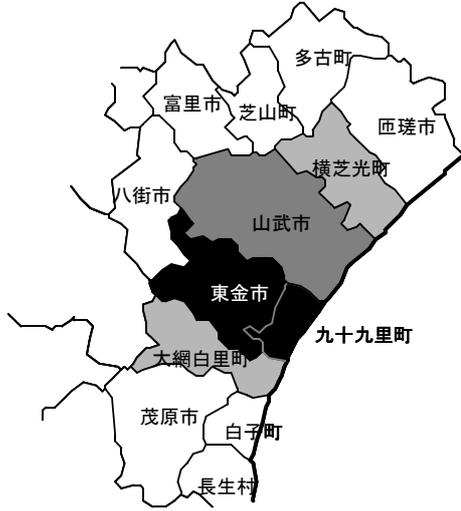
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○東金商圏は、山武ブロック一帯に2市3町から形成され、商圏人口は約21万人（東金市人口の約3.5倍）、商圏からの吸引人口は約8万人（同約133%）、商圏内吸引率は38.2%となっている。

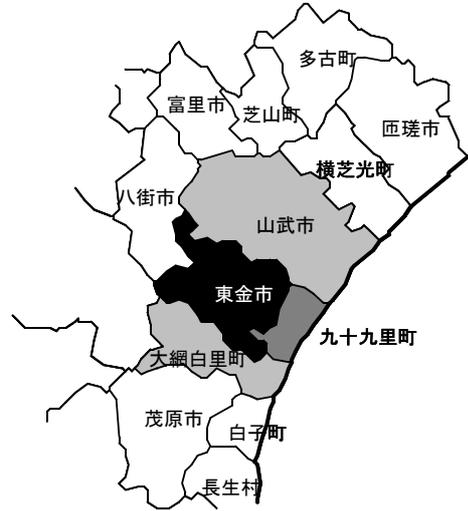
○第1次商圏は1市1町で吸引率の平均は76.3%、第2次商圏は1市で吸引率は23.3%、第3次商圏は2町で吸引率の平均は9.2%となっている。

図IV-13-1 東金商圏（衣料品・食料品・飲食・贈答品）

(衣料品)



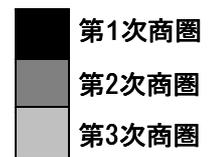
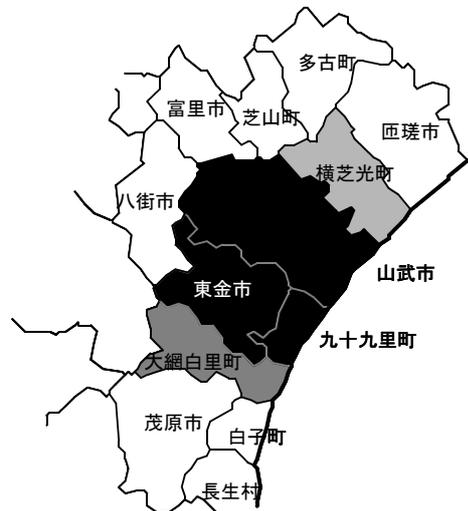
(食料品)



(飲食)



(贈答品)



(2) 旧市町村区界での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は前回調査時の1市2町から変化はない。
- ・第2次商圏は、前回調査時には2町1村であったが、1町が第3次商圏から入り、1増して3町1村となった。
- ・第3次商圏は、前回調査時は2町であったが、1町が第2次商圏へ移動したため、1減して1町となった。
- ・商圏全体では、前回調査時の8市町村（1市6町1村）から変化はない。

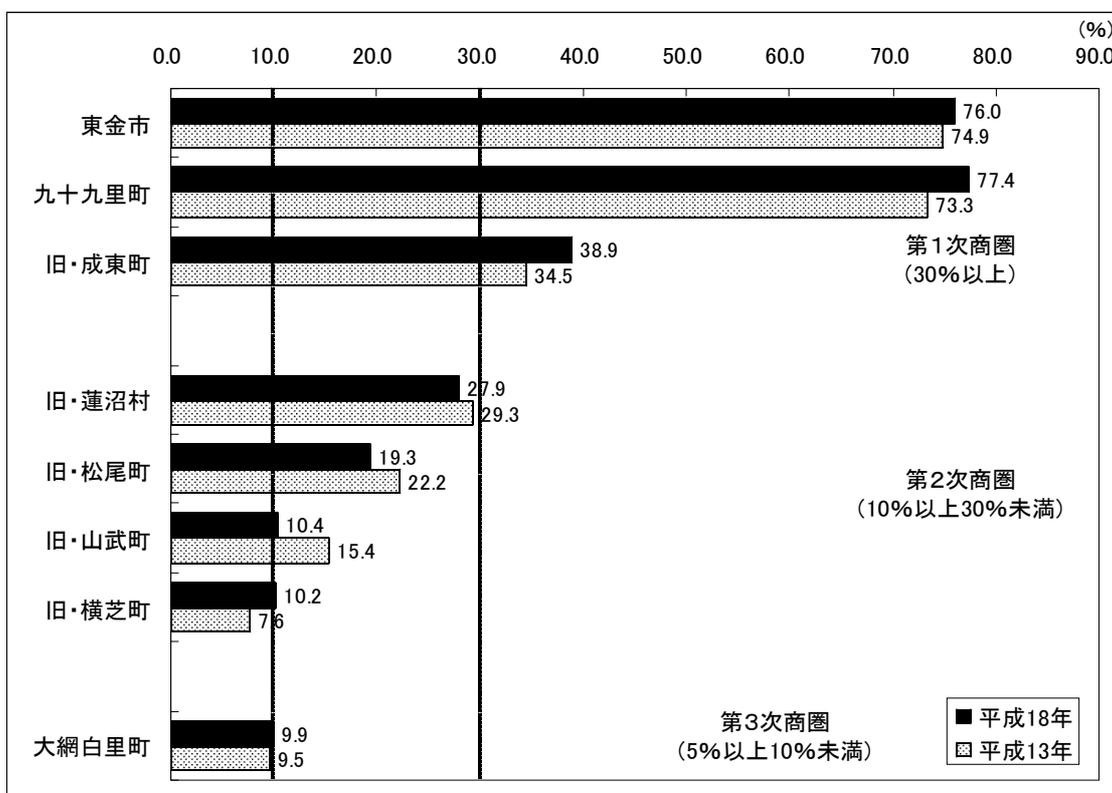
○商圏人口：前回調査時（203,299人）から増加して204,611人となった。（前回比+0.6%）

○商圏内吸引率：前回調査時（39.9%）から上昇して40.5%となった。（前回比+1ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したので、前回調査時（81,114人）から増加して82,796人となった。（前回比+2.1%）

○吸引力：吸引人口が増加したものの自市人口が増加（+2%）したことから、前回調査時（134.3%）から若干低下して134.2%となった。（前回比▲0.1ポイント）

図IV-13-2 東金市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では1市2町であるが、新市町村区界では1町が合併後（合併新市が）第2次商圏へ移動したため、1減して1市1町となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では3町1村であるが、2町1村が合併により1市となり第2次商圏にとどまり、1町は合併後（合併新市が）第3次商圏に移動したため、3減して1市となった。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では1町であるが、第2次商圏の1町が合併後（合併新市が）第3次商圏に入ったため、1増して2町となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では8市町村（1市6町1村）であったが、新市町村区界では3減して5市町（2市3町）となった。前回調査時の8市町村（1市6町1村）との比較でも3減となった。

↓

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

- 商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（203,299人）から増加して214,395人となった。（前回比+5.5%）
- 商圏内吸引率：前回（39.9%）から低下して38.2%となった。（前回比▲2ポイント）
- 吸引人口：吸引率は若干低下したものの商圏人口が増加したことから、前回（81,114人）から増加して81,935人となった。（前回比+1.0%）
- 吸引力：吸引人口は微増したものの自市人口が増加（+2.1%）したことから、前回（134.3%）より若干低下して132.8%となった。（前回比▲1ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における東金商圏内の市町村の具体的な変化を表IV-13-2に示す。

表IV-13-2 東金商圏の市町村の変化（衣料品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年 市町村		平成18年(旧・市町村区界) 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
		平成18年 での変化	平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動		平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計	3	計	3	計	2
	東金市		東金市		東金市	
	九十九里町		旧・成東町	△(山武市)	九十九里町	
	旧・成東町		九十九里町			
第2次 (10~30%未満)	計	3	計	4	計	1
	旧・山武町		旧・山武町	○(山武市)	山武市	☆
	旧・松尾町		旧・蓮沼村	○(山武市)		
	旧・蓮沼村		旧・松尾町	○(山武市)		
			※旧・横芝町	第3次から △(横芝光町)		
第3次 (5~10%未満)	計	2	計	1	計	2
	大網白里町		大網白里町		大網白里町	
	※旧・横芝町	第2次へ			横芝光町	☆
合計		8		8		5

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における東金商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１３－３に示す。

表Ⅳ－１３－３ 東金商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)		平成13年		平成18年(現・市町村区界)	
		市町村		市町村	
			平成18年 での変化		平成13年 からの変化
食料品	第1次 (30%以上)	計	1	計	1
		東金市		東金市	
	第2次 (10～30%未満)	計	1	計	1
		九十九里町		九十九里町	
	第3次 (5～10%未満)	計	2	計	2
	旧・成東町	○(山武市)	山武市	☆	
	旧・蓮沼村	○(山武市)	※ 大網白里町	新規	
	合計	4		4	
飲食	第1次 (30%以上)	計	5	計	3
		東金市		東金市	
		九十九里町		山武市	☆
		旧・成東町	○(山武市)	九十九里町	
		旧・松尾町	○(山武市)		
	旧・蓮沼村	○(山武市)			
第2次 (10～30%未満)	計	3	計	3	
	大網白里町		大網白里町		
	旧・山武町	○(山武市)	横芝光町	☆	
	旧・横芝町	○(横芝光町)			
第3次 (5～10%未満)	計	0	計	0	
	合計	8		5	
贈答品	第1次 (30%以上)	計	4	計	3
		東金市		東金市	
		九十九里町		山武市	☆
		旧・成東町	○(山武市)	九十九里町	
		旧・蓮沼村	○(山武市)		
第2次 (10～30%未満)	計	4	計	1	
	大網白里町		大網白里町		
	旧・山武町	○(山武市)			
	旧・松尾町	○(山武市)			
	※ 旧・横芝町	△(横芝光町)			
第3次 (5～10%未満)	計	0	計	1	
			横芝光町	☆	
	合計	8		5	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

1 4 匝瑳商圏（準商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表IV-14-1 匝瑳商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界(旧・八日市場市)				現・市町村区界					
	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村		商圏人口 (人)	吸引人口 (人)		
		市町村 吸引率				市町村 吸引率				
第1次 (30%以上)	計	3	56.6%	53,752	30,415	計	1	61.4%	41,790	25,659
	旧・八日市場市		60.1%	31,962	19,209	匝瑳市		61.4%	41,790	25,659
	旧・野栄町		64.3%	9,804	6,304					
	旧・光町		40.9%	11,986	4,902					
第2次 (10~30%未満)	計	1	20.8%	16,769	3,488	計	2	21.9%	42,497	9,302
	多古町		20.8%	16,769	3,488	横芝光町		22.6%	25,728	5,815
第3次 (5~10%未満)	計	3	7.4%	33,891	2,500	計	1	6.2%	8,323	516
	旧・横芝町		9.7%	14,550	1,411	芝山町		6.2%	8,323	516
	旧・松尾町		5.2%	11,018	573					
	芝山町		6.2%	8,323	516					
合計		7	34.9%	104,412	36,404		4	38.3%	92,610	35,478

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○匝瑳商圏は、海匝ブロックの西部を中心に、香取ブロックの南部・山武ブロックの北部を取り込んで、1市3町から形成され、商圏人口は約9万人(匝瑳市人口の約2.2倍)、商圏からの吸引人口は約4万人(同約85%)、商圏内吸引率は38.3%となっている。

○第1次商圏は匝瑳市1市で吸引率(地元購買率)は61.4%、第2次商圏は2町で吸引率の平均は21.9%、第3次商圏は1町で吸引率は6.2%となっている。

(2)旧市町村区界（旧・八日市場市）での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は前回調査時の1市2町から変化はない。
- ・第2次商圏は、前回調査時には2町であったが、1町が第3次商圏へ移動したため、1減して1町となった。
- ・第3次商圏は、前回調査時は2町1村であったが、2町村が圏外へ出た代わりに、第2次商圏の1町が入り、また、新たに1町が入ったため、数に変化はないものの3町となった。
- ・商圏全体では、前回調査時の8市町村（1市6町1村）から1減して7市町（1市6町）となった。

○商圏人口：前回調査時（114,327人）（注）から減少して104,412人となった。（前回比▲8.7%）

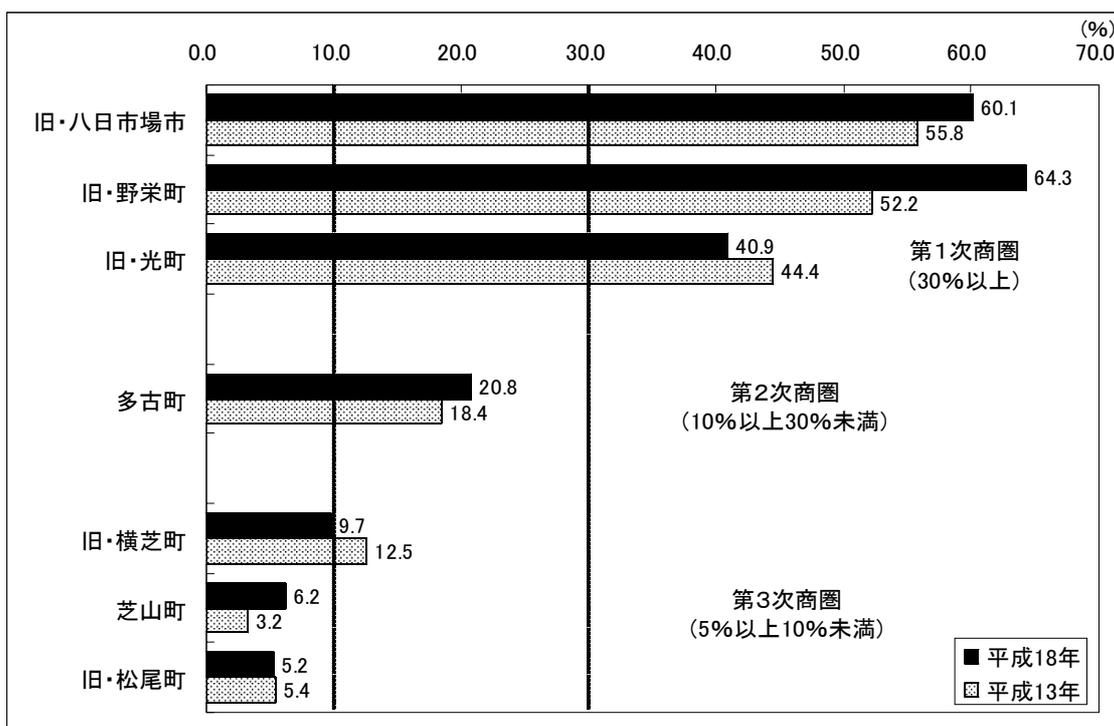
○商圏内吸引率：前回調査時（31.3%）（注）から上昇して34.9%となった。（前回比＋4ポイント）

○吸引人口：商圏人口は減少したものの吸引率が上昇したので、前回調査時（35,768人）（注）から増加して36,404人となった。（前回比＋1.8%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（109.2%）（注）から上昇して113.9%となった。（前回比＋5ポイント）

（注）前回調査時には旧・八日市場市は地元購買率（55.8%）が60%未満であり準商業中心都市あるいは単独商圏都市ではなかったが、外部の4町から10%以上、2町1村から5%以上吸引していたことから参考値として計算した。

図IV－14－2 旧・八日市場市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では1市2町であるが、新市町村区界では1市1町が合併により1市となり、1町が合併後（合併新町が）第2次商圏へ移動したため、2減して1市となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では1町であるが、第1次商圏の1町が合併後（合併新町が）第2次商圏に入ったため、1増して2町となった。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では3町であるが、1町は第1次商圏の1町と合併後（合併新町が）第2次商圏に移動し、1町は合併後（合併新市が）圏外へ出たため、2減して1町となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では7市町（1市6町）であったが、新市町村区界では3減して4市町（1市3町）となった。前回調査時の8市町村（1市6町1村）との比較では4減となった。

↓

（現市町村区界での商圏の前回調査との比較）

○商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時(114,327人)から減少して92,610人となった。（前回比▲19.0%）

○商圏内吸引率：前回(31.3%)から上昇して38.3%となった。（前回比+7ポイント）

○吸引人口：吸引率は上昇したが商圏人口が減少したため、前回(35,768人)から微減して35,478人となった。（前回比▲0.8%）

○吸引力：吸引人口が微減し、自市人口が合併により増加(+27.6%)したことから、前回(109.2%)から低下して84.9%となった。（前回比▲24ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における匝瑳商圏内の市町村の具体的な変化を表IV-14-2に示す。

表IV-14-2 匝瑳商圏の市町村の変化（衣料品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年(八日市場市)		平成18年(旧・市町村区界)		平成18年(現市区界)		
	市町村	平成18年 での変化	市町村	平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動	市町村	平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計 旧・八日市場市 旧・光町 旧・野栄町	3	計 旧・八日市場市 旧・野栄町 ※旧・光町	3	○(匝瑳市) ○(匝瑳市) △(横芝光町)	計 匝瑳市	1 ☆
第2次 (10~30%未満)	計 ※旧・横芝町 多古町	2 第3次へ	計 多古町	1		計 横芝光町 多古町	2 ☆
第3次 (5~10%未満)	計 旧・松尾町 ※旧・蓮沼村 ※旧・山田町	3 圏外へ 圏外へ	計 ※旧・横芝町 ※旧・松尾町 ※芝山町	3 第2次から 新規	○(横芝光町) ×(山武市)	計 ※芝山町	1 新規
合計		8		7			4

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における匝瑳商圏内の市町村の具体的な変化を表IV-14-3に示す。

表IV-14-3 匝瑳商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・八日市場市)		平成18年(現・市町村区界)	
	市町村		市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの変化
食料品	第1次 (30%以上)	計 1	計 1	計 1
		旧・八日市場市 ○(匝瑳市)	匝瑳市 ☆	
	第2次 (10~30%未満)	計 2	計 2	計 2
		旧・光町 ○(横芝光町)	横芝光町 ☆	
		旧・野栄町 ○(匝瑳市)	※ 多古町 第3次から	
第3次 (5~10%未満)	計 1	計 0	計 0	
	※ 多古町 第2次へ			
合計	4	3	3	
飲食	第1次 (30%以上)	計 3	計 2	計 2
		旧・八日市場市 ○(匝瑳市)	匝瑳市 ☆	
		※ 旧・光町 △(横芝光町)	※ 多古町 第2次から	
		旧・野栄町 ○(匝瑳市)		
	第2次 (10~30%未満)	計 3	計 1	計 1
	旧・横芝町 ○(横芝光町)	横芝光町 ☆		
	※ 旧・山田町 ×(香取市)			
	※ 多古町 第1次へ			
第3次 (5~10%未満)	計 2	計 0	計 0	
	※ 旧・蓮沼村 ×(山武市)			
	※ 旧・千潟町 ×(旭市)			
合計	8	3	3	
贈答品	第1次 (30%以上)	計 3	計 0	計 0
		旧・八日市場市 ○(匝瑳市)	匝瑳市 ☆	
		旧・野栄町 ○(匝瑳市)		
		※ 旧・光町 △(横芝光町)		
	第2次 (10~30%未満)	計 1	計 2	計 2
	多古町	横芝光町 ☆		
		多古町		
第3次 (5~10%未満)	計 0	計 0	計 0	
合計	4	2	2	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市